

平成23年6月22日14時00分

東北地方整備局

## 岩手県沿岸部における地震に伴う地盤沈下について

東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動や津波により、岩手県の沿岸部では地盤沈下や侵食が発生しています。

また、津波により、堤防等の施設が破壊され、高潮等に対する安全性が著しく低下していることから、航空レーザ計測により得られたデータより、岩手県沿岸の地盤高を把握し、海面との高さの関係を整理しましたのでお知らせします。

地震後にはこれらの地域において、海拔0m<sup>※1</sup>以下、大潮の満潮位<sup>※2</sup>以下、過去最高潮位<sup>※3</sup>以下の面積<sup>※4</sup>が増加しており、それぞれ、0.6 km<sup>2</sup>、3.5 km<sup>2</sup>、8.1 km<sup>2</sup>となっています。

	地震後	地震後増加した割合 (推定値) <sup>※5</sup>
海拔0m以下の面積 (T.P. ±0m)	0.6 km <sup>2</sup>	1.8 倍
大潮の満潮位以下の面積 (T.P. +0.7m)	3.5 km <sup>2</sup>	3.2 倍
過去最高潮位以下の面積 (T.P. +1.2m)	8.1 km <sup>2</sup>	2.3 倍

※1 東京湾平均海面(T.P.±0m)

※2 朔望平均満潮位: 新月および満月の日から5日以内に現れる各月の最高満潮面の平均値。ここでは T.P.+0.7m

※3 T.P.+1.2m (岩手県5地点の既往最高潮位の平均値)

※4 小数点第二位を四捨五入

※5 地震前後の航空レーザ計測結果がある地域より計算

※同様の発表を、国土交通省河川局でも実施しております。

<記者発表先: 岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者クラブ、東北専門記者会>

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局 Tel.022-225-2171(代)

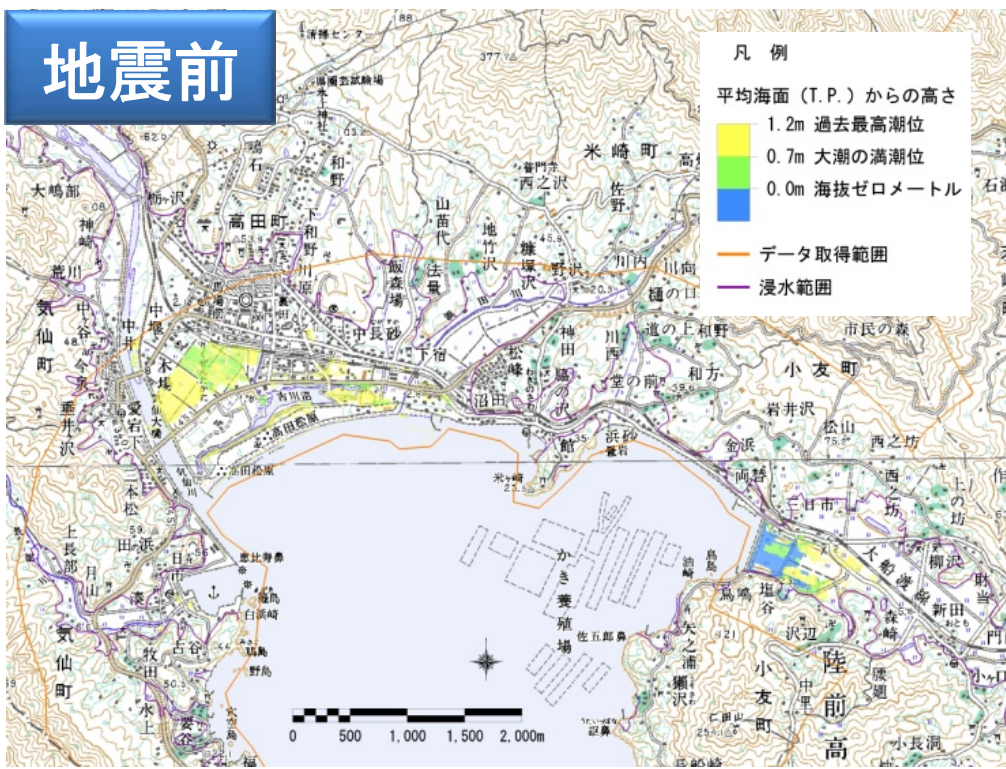
河川部 河川調査官 鈴木 俊朗 (内線 3513)

河川計画課長 舛田 直樹 (内線 3611)

# 地盤高の状況(陸前高田市、大船渡市)

平成23年6月22日  
国土交通省

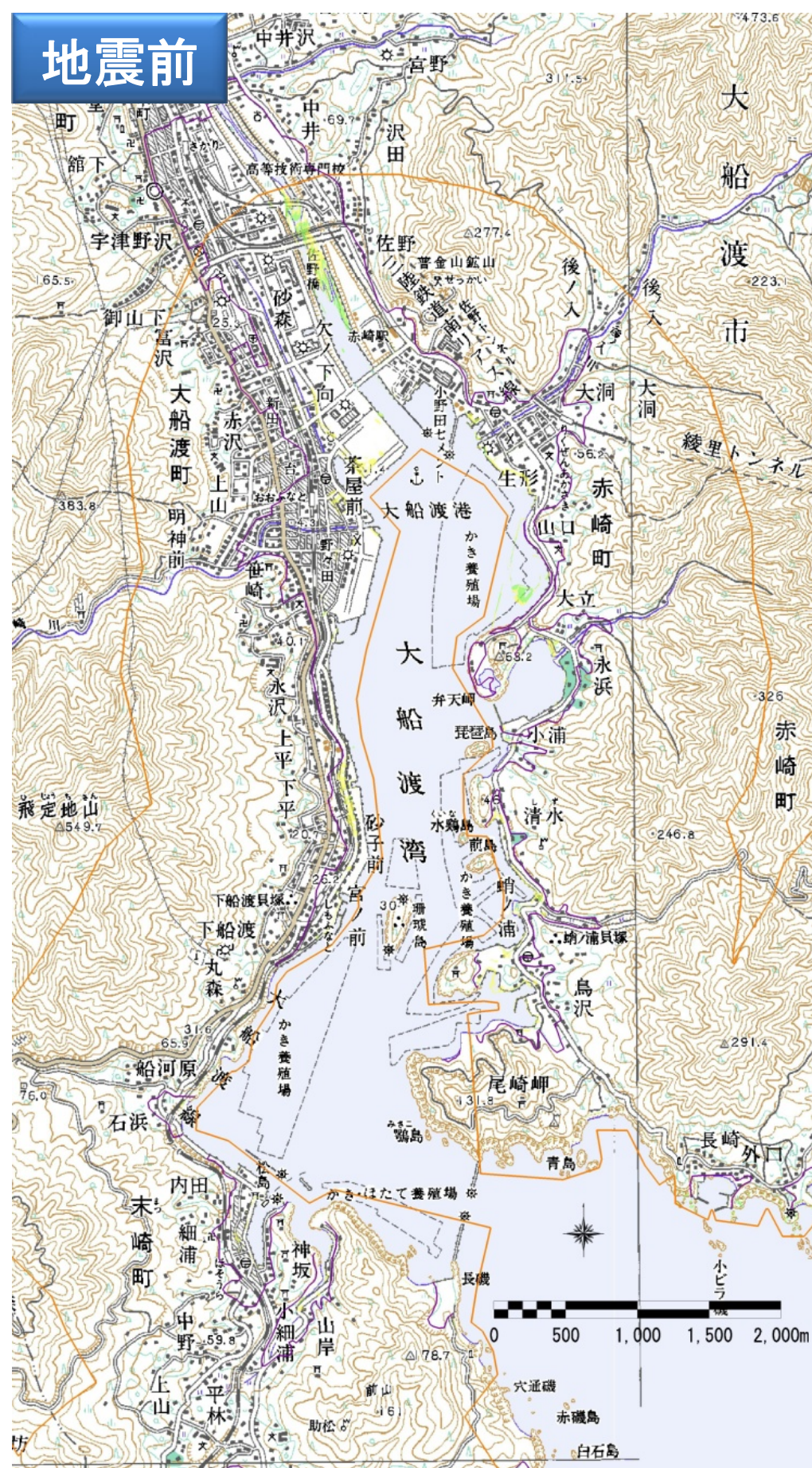
## 陸前高田市



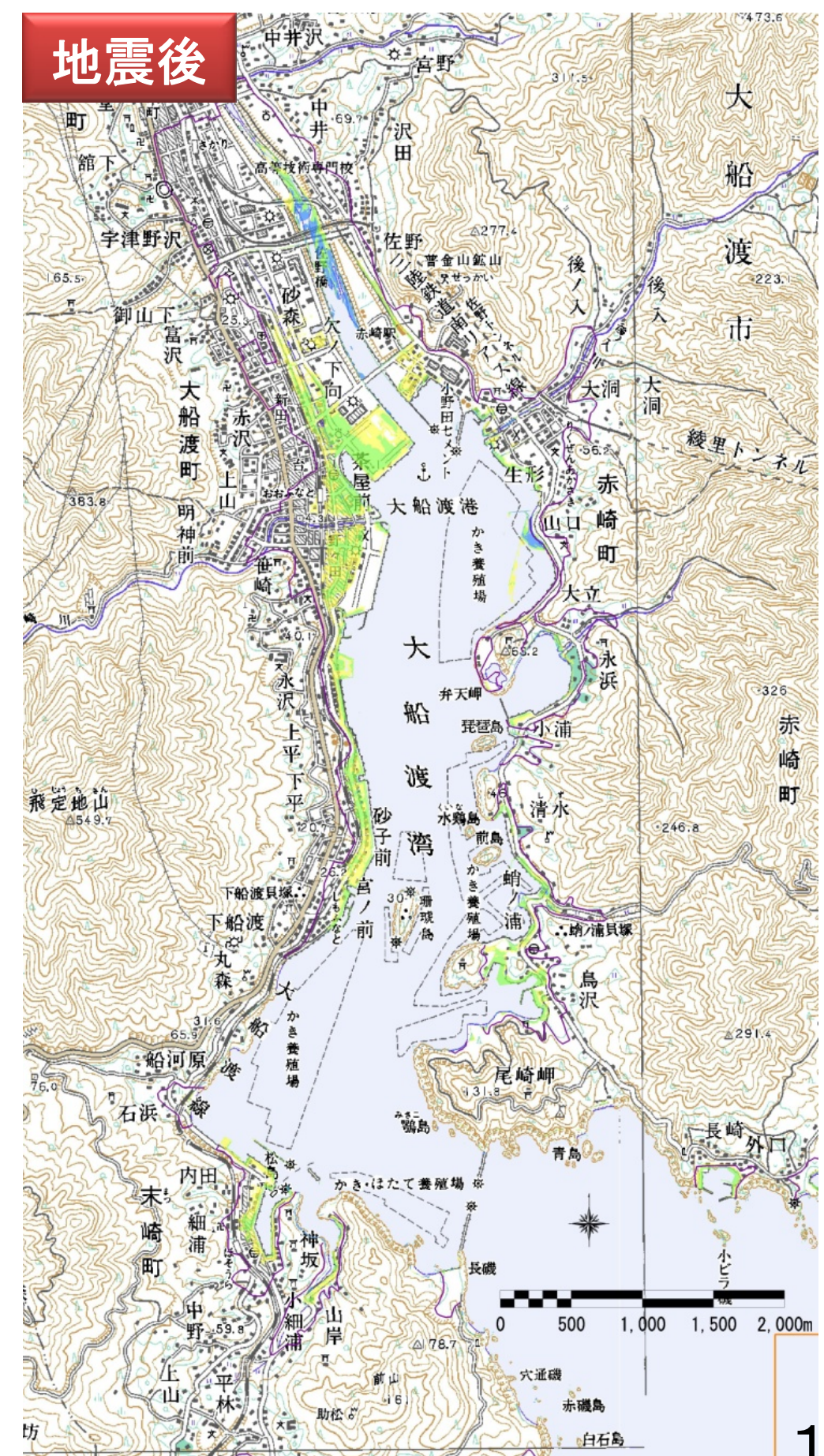
## 陸前高田市



## 大船渡市



## 大船渡市



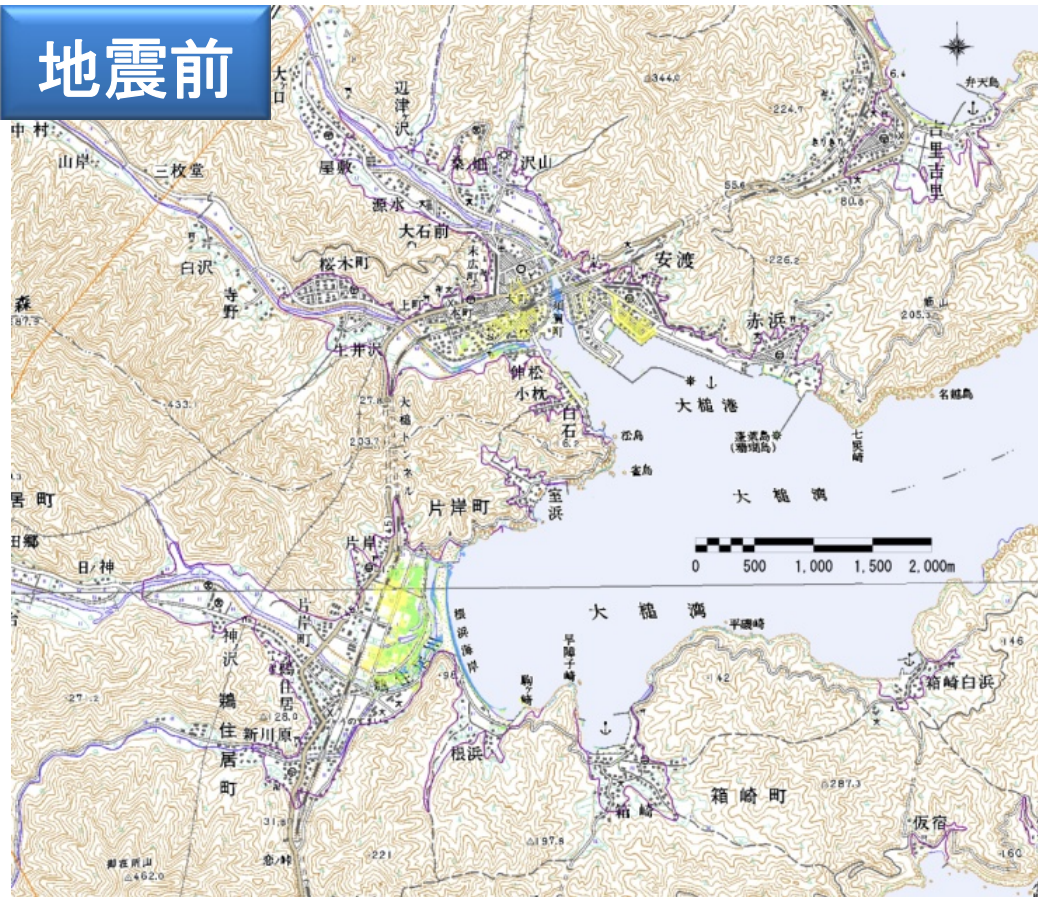
## 釜石市



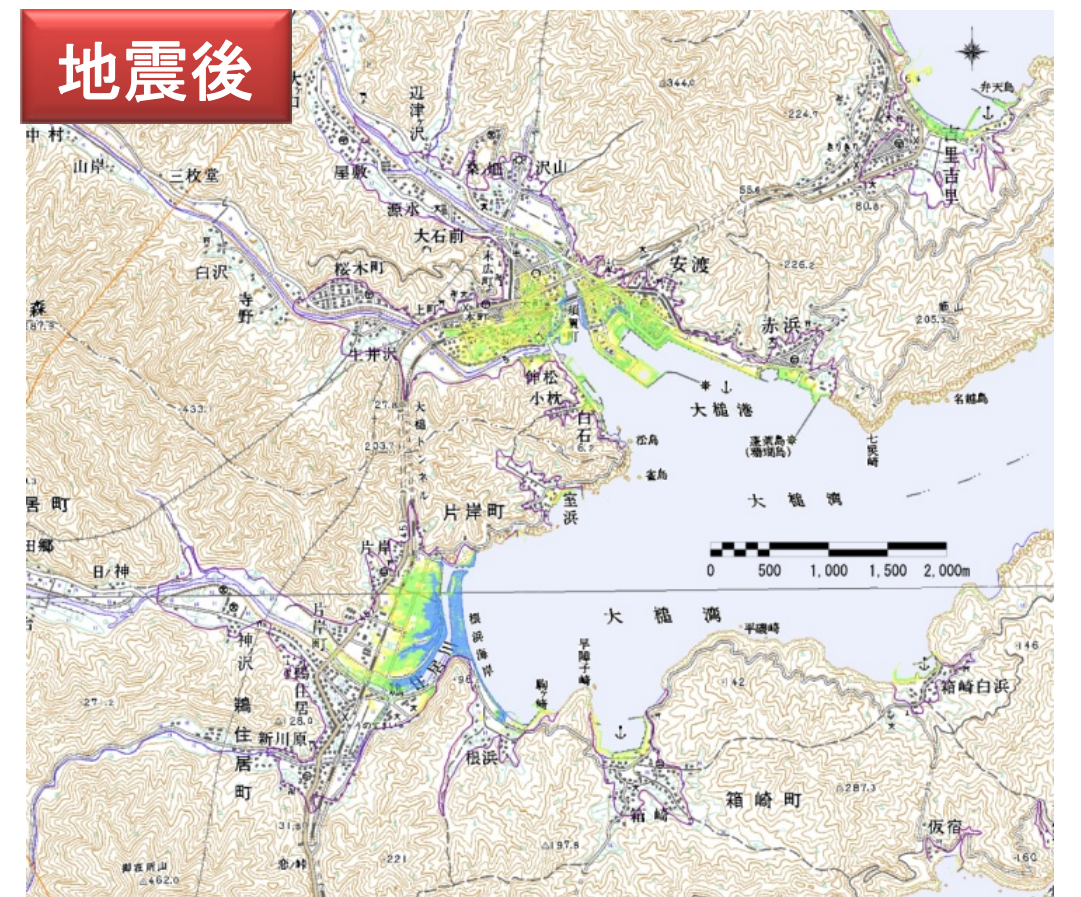
## 釜石市



## 大槌町



## 大槌町



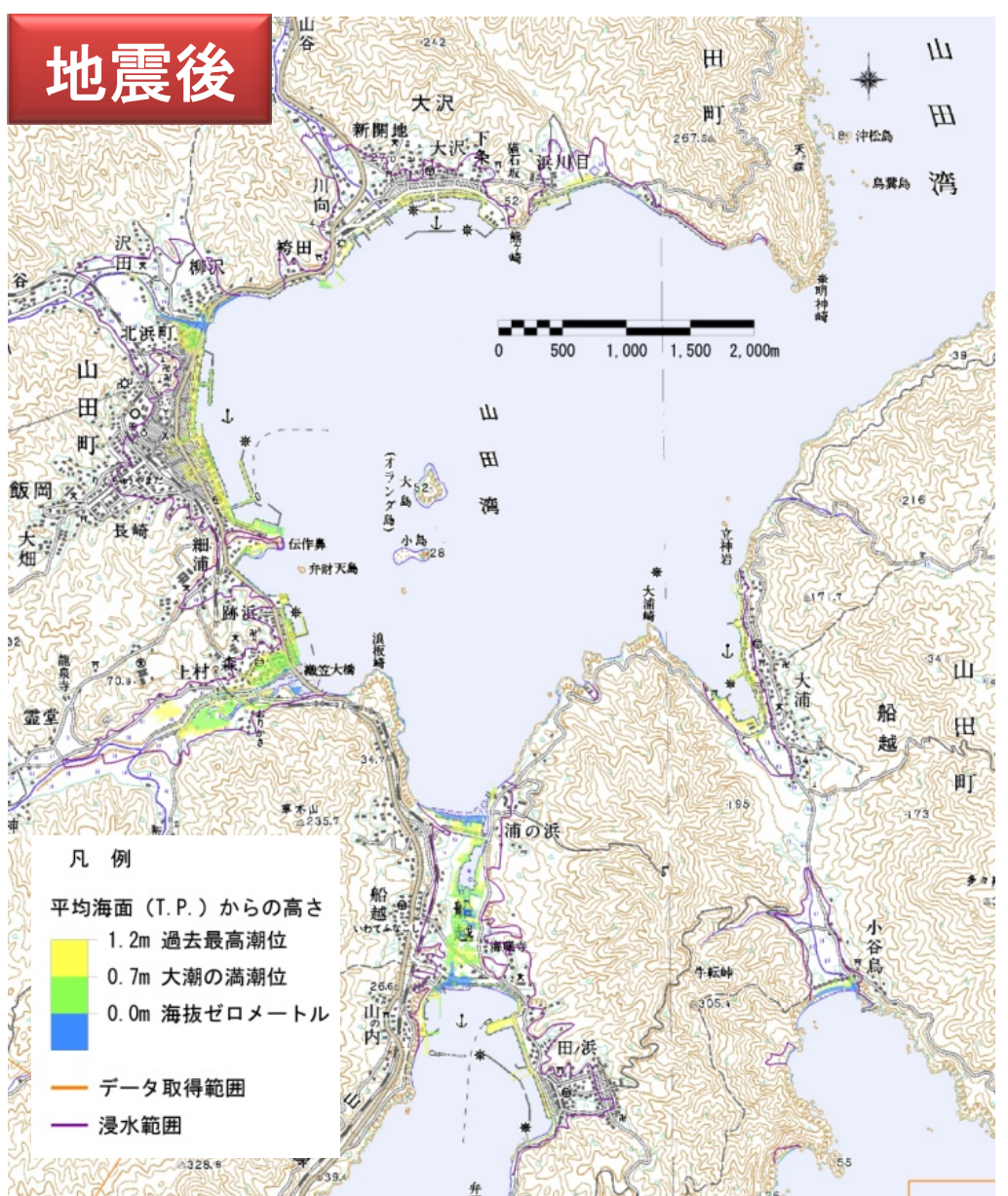
# 地盤高の状況(山田町、宮古市)

平成23年6月22日  
国土交通省

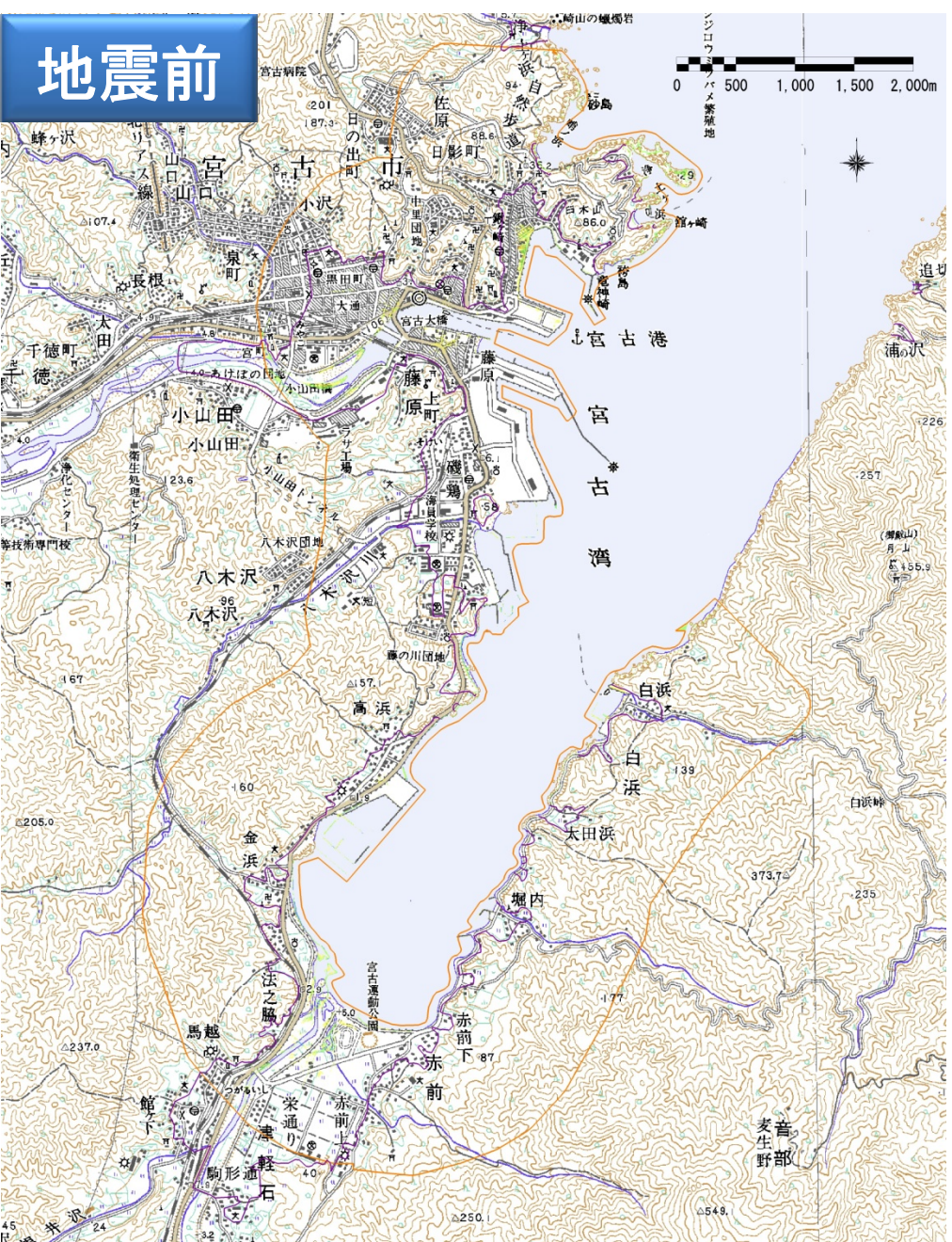
## 山田町



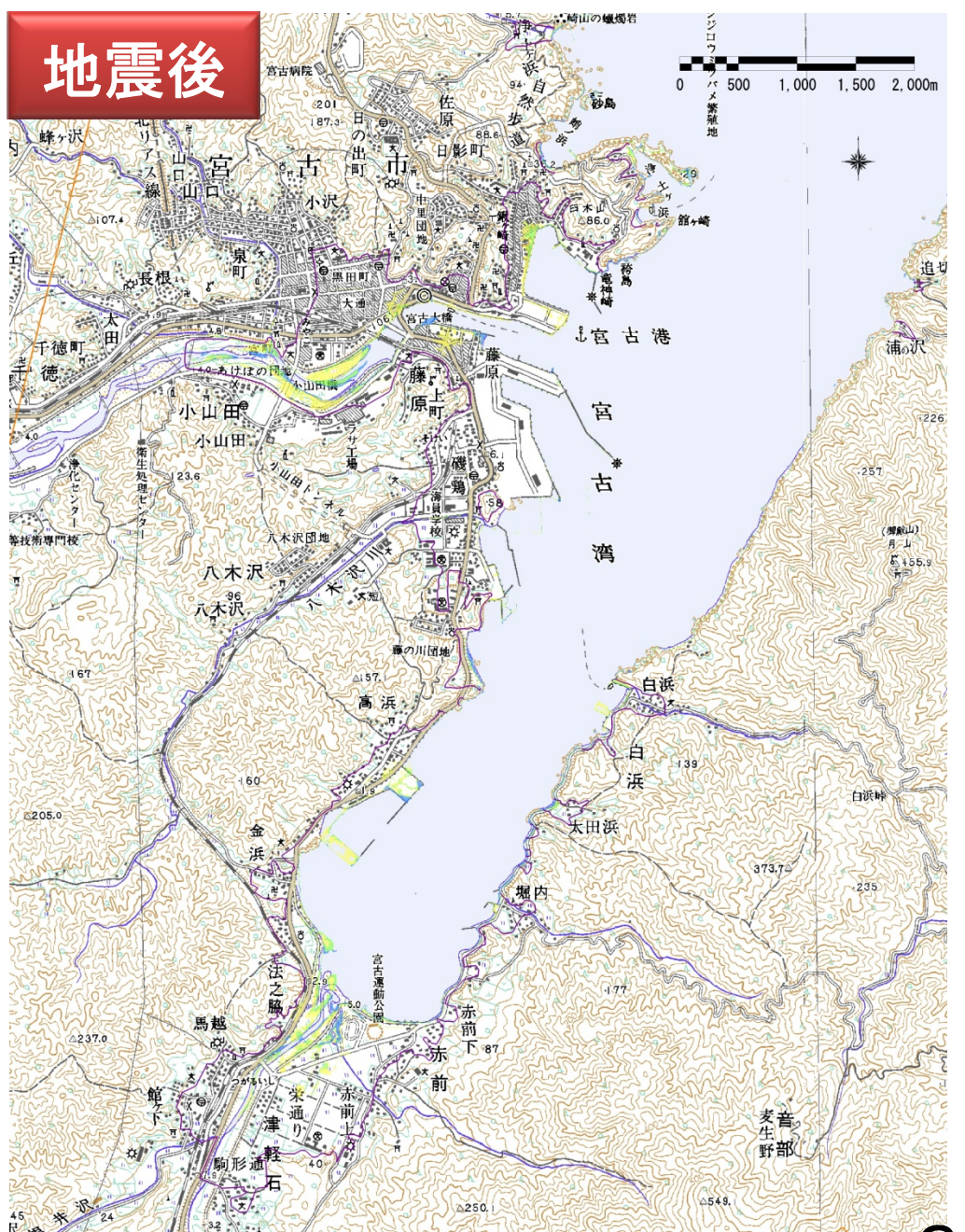
## 山田町



## 宮古市



## 宮古市



## 宮古市(田老)



## 宮古市(田老)



## 久慈市



## 久慈市



